

教育計画部会

部活動についての検討経過報告

部活動について検討

1、町内3中学校の部活動の状況について

中学校	生徒数(R2)	部活動
中谷中学校	160名	野球、陸上競技、男子バスケット、女子バスケット、女子ソフトテニス、吹奏楽、美術
六瀬中学校	61名	野球、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、吹奏楽、
猪名川中学校	804名	野球、剣道、男女ソフトテニス、陸上競技、卓球、サッカー、女子バレーボール、男女バスケット、美術、科学、吹奏楽、合唱

2、新設校における部活動についての調査検討

(1)清陵中学校部活動のあり方

①清陵中学校部活動の方向性について

○開校時の部活動

- ・中谷中学校、六瀬中学校で現在活動中の部活動は継続できるようにする。
- ・開校時の部活動は、野球部、陸上競技部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子ソフトテニス部、女子ソフトテニス部、吹奏楽部、美術部の8つの部活動で考える。

○開校後の部活動

- ・8つの部活動については、継続して活動していくことができるようにする。
- ・チーム（団体戦）が組めるように部活動を維持していく。
- ・生徒の安全な活動面及び顧問の負担面からも、部活指導補助員の導入やコミュニティスクールの運用のなかで部活動の活動方法についても検討していく。

(2)再編に向けての課題について

①施設、設備、備品等に関すること

○練習場所の確保（特にテニスコート）

- ・ソフトテニス部が男女となるため練習場所を増設することも必要になる。
- ・場所は学校で決めてもらう。（グラウンド西側等利用できる場所で）
- ・残っている支柱や移動式防球ネット等、使用できるものを活用して練習場所の増設を考えていく。

○部活倉庫に関すること

- ・部活数が増えることにより練習用具等の保管場所の増設する必要がある。
- ・練習場所に近いところ（バックネット裏の3塁側など）に設置することが望ましい。

・手作りの倉庫かロッカー等の既製品の設置でどうか。

○ユニフォーム等に関すること

- ・中谷中、六瀬中の現状では、陸上競技部、ソフトテニス部、野球部は個人持ち、バスケットボール部は部持ちとなっている。
- ・学校名ゼッケンの付替え、学校名の張替え、張替え不可能な場合の新調なども考える必要がある。
- ・費用については、できるだけ保護者負担とならない方法を検討していく。

○用具に関すること

- ・再編前の学校名が入っているものもあるが、再利用できるものは使用していく。順次購入等の計画は清陵中で立てていく。

②運用面に関すること

○新たな方向としての検討課題

- ・特別支援の生徒も活動可能な部活動、又、部活動に属していない生徒も含めて、自分の興味ある事、取り組んでみたいことを支援する方法等についての検討も今後の課題。
- ・コミュニテースクール等との連携や利点を生かし、様々な生徒が活動できる体制についても検討してもらいたい。

【部会ででた意見】

- ・生徒の興味・関心に応えられる「地域マイスター」のような存在を立ち上げ、興味ある生徒がアクセスできる仕組みなどなど、制度として考えられないだろうか。
- ・コミスクの活用や地域人材の活用で、生徒の多様な要望を受け止めていく形ができるとよい。

○部活顧問に関すること

- ・顧問の制度や校務分掌との関係などについて検討

○部活動のスタート（入部）に関すること

- ・退部、変更等については、生徒、保護者の思いを尊重し柔軟に対応する。（町立中学校部活動ガイドラインより）

③令和3年度にやっておくこと。

○部活交流、合同練習

- ・各部で実施してほしい。
- ・交流を計画するにあたり、両校の年間行事予定をすり合わせ、調整しておく必要がある。
- ・交流にあたっては、お互いを理解し合うという視点からも両校を使用していく方向で考える。

○仮入部（練習参加）、入部希望調査

- ・新中1、新中2は、本人保護者同意のもと、保護者の責任で（送迎も含め）可能とする。
- ・令和3年度は大会に出場はできない。

○対外的なこと

- ・部活数の増減と大会等の運営について
町立中学校として、女子ソフトテニス部が1校減となる。